

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月24日更新

事務事業名		御代志市民センター講堂舞台照明設備改修工事事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会事務局	課長名	上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	奈須 昌美
	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備					所属班	生涯学習班	(内線)	2522
予算科目		会計一般	款10	項5	目6	事業連番11572	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑪ コスト削減優先度評価結果 : ⑥			
終了、開始年度		☒ 24年度で終了 ☒ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 24 年度) ☒ 期間限定複数年度 (24 ~ 24 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	施設利用者が、御代志市民センター講堂を快適に利用できるよう舞台照明設備の改修・更新を行う。昭和62年3月に開館し、講堂も市行事や保育園発表会等の利用が増え、舞台照明設備も保守点検により、適正な管理に努めているが、開館以来25年を経過し、既に対応年数も過ぎて故障による部品交換も出来ず代用品で延命処置を行なってきた。しかし、全体的な劣化から機器に不具合を生じるため、照明設備の改修更新を行う。また、設備機器の改修により、諸費電力等のコスト軽減を図りたい。
【業務の流れ】	経年劣化した舞台照明設備を3ヵ年により改修を行う。 1年目：照明操作卓の改修⇒2年目：照明操作盤の改修⇒3年目：付加器具等の改修
【主な予算費目】	15. 工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	舞台利用者からの要望で、簡易的な調光調整ではあるが、不具合が生じる場合がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
舞台照明設備操作卓の改修工事		平成24年度に照明操作卓等の改修、平成25年度に照明盤等の改修、平成25年度に付加設備の改修を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 御代志市民センター講堂舞台照明設備改修工事に係る経費	円	10827御代志市民センター維持管理事業へ統合による事業費の減
⇒ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
御代志市民センター講堂舞台照明設備		(単位)
		⇒ ア 施設面積
		⇒ イ m ²
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
講堂利用者が、舞台照明施設を快適に利用できる。		(単位)
		⇒ ア 施設維持管理上の不具合・トラブル件数
		⇒ イ 件
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～24年度
管理上、使用時の不具合、故障が発生しなければ、利用者に対して良好な環境を提供する事ができる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円		0	4,770,000	4,200,000			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円			4,770	4,200			
	(A) 事業費計		千円		0	4,770	4,200			
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0			
			千円		0	0	0			
	人件費	正規職員従事人数	人		3	1	2			
		延べ業務時間	時間		90	0	70			
	(B) 人件費計		千円		363	0	284			
	トータルコスト(A)+(B)		千円		363	4,770	4,484			

事務事業名	御代志市民センター講堂舞台照明設備改修工事事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 講堂舞台照明設備第1期目である操作卓の改修は目標どおり完了した。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 第2期目の改修工事についても入札により業者選定し、滞りなく実施される見込みあり。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 次年度以降、御代志市民センター維持管理事業と統合し、目標達成を図る。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 入札により工事請負費の削減を図ることができる。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業に係る正職員の事務等最低限の人件費のみのため削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 御代志市民センター講堂は、市有施設なので住民への移行はできない	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

講堂照明設備は設置より改修等をなされておらず、設備が古く、故障した場合、部品が製造終了となっており修繕することが不可能であるため、改修工事を継続して行い設備を更新する必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持					増加																				
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
市民センター維持管理事業に統合																												
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												